



心臓血管外科 宮坂 成人

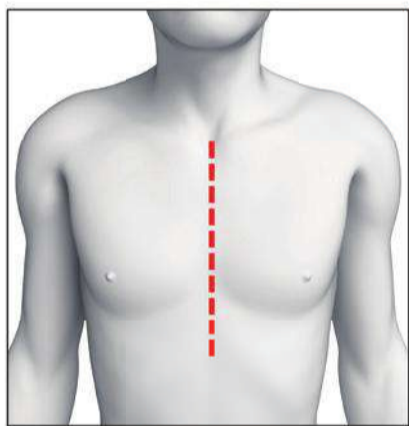
体に優しい心臓手術～MICS～

外科の世界には” Big surgeon, Big incision” (偉大な外科医は大きく切って手術を行う) という言葉が存在します。心臓外科などはその最たるものでしたが、近年では少しでも体に優しい手術を、という機運が高まりつつあります。

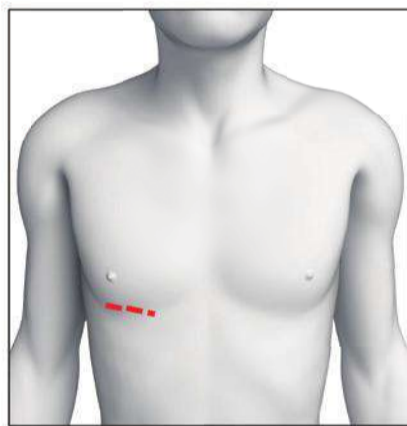
当院では 2011 年に山陰で初めて胸骨を切らない小切開心臓手術 (Minimally Invasive Cardiac Surgery:MICS) を導入して以来、積極的に行ってきました。この手術は内視鏡を用いて肋骨の間から操作を行うもので、美容的のみならず早期の社会復帰を可能とします。現在は、僧帽弁形成術のみならず大動脈弁置換術や一部の冠動脈バイパス術も行っています。心臓血管外科は” Big surgeon, Small incision” の時代をリードできるよう頑張っていきます。



心臓手術の術創部



胸骨正中切開法による創部

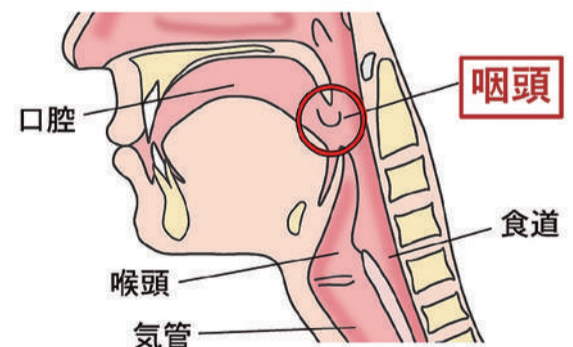


MICSによる創部

咽頭部腫瘍に対する最近の治療

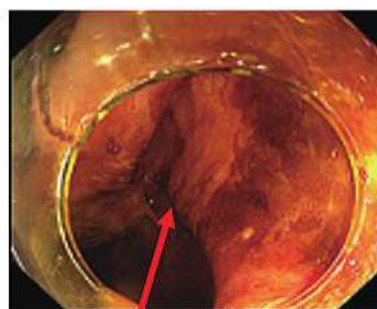
内視鏡機器や医療技術の進歩により、咽頭領域のがんの発見が増えています。この領域の表在がんに対する標準治療は外科手術および放射線治療ですが、嚥下および発声機能の温存を目的とした身体に負担の少ない内視鏡治療の適応拡大がなされています。

現在当院では咽頭部の比較的大きな病変に対し、耳鼻いんこう科松田英賢医師及び消化器内科柳谷淳志医師らを中心に、二科合同でESD (内視鏡的粘膜下層剥離 (はくり) 術: Endoscopic Submucosal Dissection) を行っています。対象は粘膜切除で根治できる上皮内がんや潜在的にがんとなる可能性のある病変で、症例に応じてその適応を検討しています。

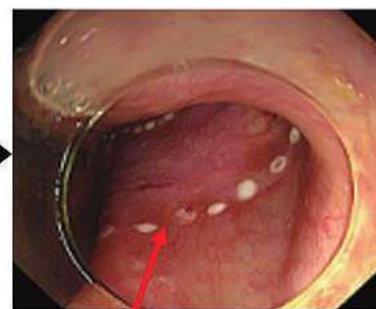


咽頭の部位

下咽頭がんに対する ESD の実際



腫瘍



切除のマーキング



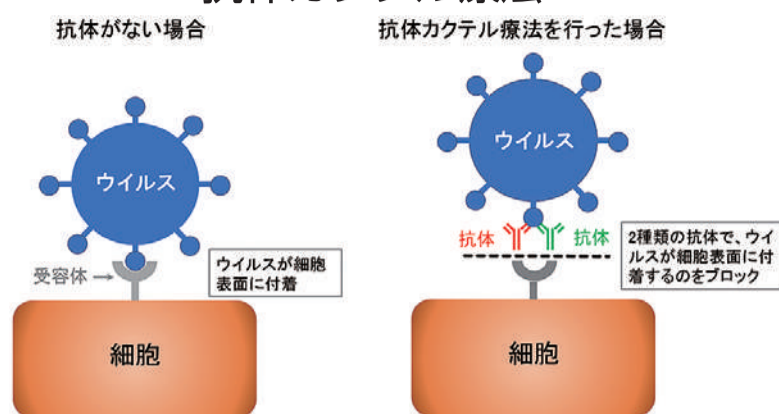
神経を温存しながら切除

新型コロナウイルス治療 ～抗体カクテル療法とは？～

新型コロナウイルス治療法で最近よく耳にするのが“抗体カクテル療法”です。この治療はウイルスの増殖を防ぐ2種類の抗体（カシリビマブ、イムデビマブ）を混ぜ合わせて点滴で投与する方法です。対象は、発症から7日以内の肺炎を起こしていない比較的軽症の患者さんで、ウイルスの増殖を阻止し、重症化を防ぐ効果があります。治療効果は高く、本邦の調査では、投与された95%以上の患者さんに効果があったと報告されており、当院でもすでに何名かの患者さんにこの治療を行い病状が改善しています。

コロナの予防対策の継続とともに、症状が疑われたら早期の受診が大切です。

抗体カクテル療法



Low Vision(ロービジョン)外来開設の紹介



2021年7月より当院眼科にLow Vision(ロービジョン)外来が開設されました。Low Vision(ロービジョン)とは“視覚機能の低下”を意味しますが、眼の病気などで薬や手術による治療を行っても、なかなか元どおりの視力や視野に戻らないこともあります。このような方に、専門の眼科医師・視能訓練士・看護師らが協力して、患者さん一人ひとりに応じた対応を行なっています。遮光眼鏡・矯正眼鏡の処方、拡大鏡の紹介、日常生活での工夫のアドバイスなどのほか、福祉サービスを含めたさまざまな情報提供も行い、日常生活の不自由さの軽減につながるよう努めています。視力でお困りの方は、当院眼科までお問い合わせ下さい。

マイナンバーカードが健康保険証として利用できます!

当院では2021年5月から、マイナンバーカードの健康保険証利用の試験運用を開始し、近日中に本格運用を予定しています。受付や外来などに設置されている顔認証付きカードリーダーにマイナンバーカードをかざし、モニターに顔を近づけて認証(暗証番号の入力も可)することで利用が可能となります。他医療機関と情報共有できるため、「限度額適用認定証」がなくても高額療養費制度を利用することができます。



また、本格運用開始後は、ご本人の同意があれば自身の特定健診の情報や処方薬の情報も閲覧できるようになります。さらに、マイナポータルを通じた医療費情報の自動入力で確定申告の医療費控除が簡単に作成出来ます。

ご不明な点は、「患者支援センター」までお問い合わせ下さい。

県立中央病院を支えるスタッフ

第4回 手話通訳

当院には、鳥取県東部圏域で唯一、手話通訳士が常駐しています。依頼があれば、外来・病棟・検査など院内のどこへでも手話通訳に出向きます。

医療通訳は高い技術が必要となりますが、田中満寿江さんはあらゆる方に対応する技術を有しています。耳が不自由な患者さんやご家族の方々へ、安心して大切な検査や治療を提供出来るよう、寄り添いながらお話をさせて頂いています。

これからも手話通訳が必要な時はお気軽にお声がけください。



手話通訳 田中 満寿江

FAX予約時間が延長拡大されました。

当院では、原則、かかりつけの診療所、医院からのご紹介で、外来診療予約をおとりしています。

かねてよりご要望のありました「FAX 紹介予約受付時間」が、2021年9月1日より17時から18時へ延長されました。これまで以上に余裕を持って、かかりつけの診療所や病院より当院への診察の予約と確認が可能となりました。今後とも、地域の多くの診療所や医院と提携して、患者の皆様への専門的な高度医療の提供に努めてまいります。

*ただし、下記診療科につきましては医師の直接確認が必要となりますので、当日のお返事をお返すことができませんが、その際には、その旨をお知らせする書面を紹介元へお送り致します。

医師確認が必要な診療科；眼科・小児科・小児外科・精神科・産婦人科・放射線科

